2013-2014 年度今治ロータリークラブ週報 No.32

第 ３２ 回 例 会 報 告（2月２７日）

【 出　席　報　告 】

・会員数　５３名　・出席数　３７名　・欠席数　１６名
・当日出席率　７３．４６％　・前々回修正出席率　８７．７６％
＜欠席会員＞青野(賢)、原田、原、檜垣(巧)、平田、桑森、宮本、光藤、村上(裕)、岡本、重松、竹田、渡辺
〔免除会員〕青野、飯、松本、白石
<2/13 欠席補填>(2/10 高松北)川上　(2/13 新居浜)岡田　(2/18 今治南)尾越　(2/22IM)久米　(2/24 今治北)光藤

◇会長報告・IM へ多数のご出席、ありがとうございました。

◇幹事報告・3 月 2 日(日)3RC 合同水源の森事業は雨予報の為、3 月 9 日(日)へ変更となりました。
・3 月のロータリーレートは 1 ドル 102 円です。

◇チューク RC を訪問して・大澤正尚会員：世界中から沈船ダイビング客が訪れる、グアムから南東へ飛行機で約 1 時間のミクロネシア・チューク諸島へ越智健司会員と行って参りましたのでその報告をします。ここはかつてトラック諸島と呼ばれ、第一次世界大戦終結後は日本が委任統治する連合艦隊の泊地でした。こちらの RC の会員は 9 名、例会は水曜日ということでしたが会長には会えず、バナー交換もできず…。もしかすると例会は開かれていないのかも知れません。そのほか初日のダイブで手を切ったところが化膿したり、2 月 17 日に行われたトラック島空襲 70 年の追悼式典では「日本から偉い人が来た」と来賓扱いになったり。何とも珍道中になってしまいました。

2013-2014 年度インターシティ･ミーティング報告

◆島田雄二郎会員：（基調講演　京谷和幸氏「絆～人生を変えた様々な出会い～」）今回の演者である京谷和幸さんはバルセロナ五輪代表候補にもなった元Jリーガーであり、1993年に交通事故で下半身不随となった後はシドニーからロンドンまで、4大会連続でパラリンピック日本代表になった車いすバスケットの元選手です。これまでの人生で柱となった4つの出会いを核にお話しされました。ひとつはサッカー、二つ目は車いすバスケット、三つ目が奥さん、そして最後は出会いというには変だが、と断ってらっしゃいましたが事故だそうです。▼Jリーグ元年、ジェフユナイテッド市原（当時）のMFとしてリトバルスキーらとプレーした京谷さん。当時のコーチだった岡田武史・元日本代表監督から「次の目標を考えておかないと今に大変なことになるぞ」と言われていたものの、あれほど好きだったサッカーも日々やっているだけの状態に。それから半年後、結婚式の衣裳合せ当日の朝、事故に遭ってしまいます。病院で目覚めると婚約者から突然「すぐ入籍しよう」と言われ驚いたそうですが、彼女の日記を盗み見してしまい、自分が下半身不随になることを知りました。サッカーができないことに恐怖で体が震えたそうですが、同時に一人では何もできない、自販機で飲み物を買うことさえできない自分に気づいたそうです。▼「一人じゃできないことも二人なら乗り越えられるよ」。果たして私の家内からそんな言葉は出てくるのでしょうか。本当に奥さんは立派な方だと思います。ともあれ、そんな彼女に感謝の気持ちを伝えたい、恩返しをしたいと思うようになり、車いすバスケットを始めました。かつての自分中心だった考え方は消え、誰かのために打ち込むようになったそうです。今はサッカーの指導者として、そしてゆくゆくは障害者スポーツへも恩返ししたいと語る京谷さん。かなり異質な体験ですが、立派に講演され、指導されているのは奥さんの存在あればこそでしょう。そして夢と目標を持つことが新たな出会いのチャンスを生む、と結論づけていました。RCには資金提供と就労支援をお願いしたい、だそうです。

◆久米操会員：(全体講評)次年度は白石洋治会員がガバナー補佐を務めるので、今治RCがIMのホストになります。その実行委員長を任されました。その観点からお話しすると、登録→開会→昼食→講演という今回の流れでは昼食後に無駄な時間が生じます。そこで次年度は登録と同時に昼食を各自で取ってもらい、少し時間に余裕を見て開会、そのまま講演という形にしてはどうでしょうか。テーマは未定ですが地域・奉仕・新世代ということがキーワードになるでしょう。2015年2月7日（土）、今治国際ホテルを押さえています。何らかの委員会に所属していただいて全員参加、どうかよろしくお願いします。

＜ビジター＞今治南RC　村上明弘様＜溶接棒製造＞

次 回 例 会（3月６日）

【　職業奉仕委員会アワー　】

＜配偶者誕生祝＞　尾越　優氏（3/7）　光藤　廣司氏（3/8）　島田　雄二郎氏（3/12）
＜入会記念日祝＞　近藤　正人氏（3/9）

〔　健寿司　〕